

各連携事業の重要業績評価指標(KPI)

(1) 圏域全体の経済成長のけん引

連携事業	指標	単位	範囲	基準値	現状値	基準値比較	目標値	目標値比較
①富山広域連携中枢都市圏ビジョン懇談会運営事業	連携事業における成果指標の達成率	%	—	—	70.6% (現状値の指標)	—	100% (令和4年度)	未達成
②薬用植物栽培の事業化推進事業	研修会の参加人数	人(年間)	圏域	54人 (平成30年度)	42人 (令和元年度)	↓	80人 (令和4年度)	未達成 (▲38人)
③滞在型観光連携事業	圏域の観光客入込数	万人(年間)	圏域	927.7万人 (平成28年)	969.4万人 (令和元年)	↑	1,000万人 (令和4年)	未達成 (▲30.6万人)

(2) 高次の都市機能の集積・強化

連携事業	指標	単位	範囲	基準値	現状値	基準値比較	目標値	目標値比較
④二次救急医療体制の確保	病院群輪番制による24時間365日切れ目のない救急搬送の受け入れ	実施の有無	圏域	病院群輪番制の実施 (平成29年度)	病院群輪番制の実施 (令和元年度)	→	病院群輪番制の維持 (令和4年度)	達成
⑤富山駅周辺整備事業	鉄道駅利用客数 ・富山駅乗車人員	人(1日平均)	—	19,274人/日 (平成27年度)	20,173人/日 (平成30年度)	↑	現状維持を目指す (令和4年度)	達成 (+899人)
	鉄道駅利用客数 ・電鉄富山駅乗降人員	人(1日平均)	—	7,422人/日 (平成27年度)	7,699人/日 (平成30年度)	↑	現状維持を目指す (令和4年度)	達成 (+277人)
	富山駅周辺地区の歩行者数	人(1日当たり)	—	平日 42,624人 日曜 37,855人 (平成28年度)	平日 40,807人 日曜 23,528人 (令和元年度)	↓	現状維持を目指す (令和4年度)	未達成 (平日 ▲1,817人) (休日 ▲11,419人)

(3) 圏域全体の生活関連機能サービスの向上

連携事業	指標	単位	範囲	基準値	現状値	基準値比較	目標値	目標値比較
⑥「富山市まちなか総合ケアセンター」における障害児支援事業	相談(支援)件数	件(年間)	圏域	2,846件 (平成29年度)	3,595件 (令和元年度)	↑	3,450件 (令和4年度)	達成 (+145件)
⑦「富山市まちなか総合ケアセンター」における病児保育事業	病児保育の利用者数	人(年間)	圏域	821人 (平成29年度)	881人 (令和元年度)	↑	850人 (令和4年度)	達成 (+31人)
⑧「富山市まちなか総合ケアセンター」における産後ケア事業	施設の利用者数(実人数)	人(年間)	圏域	114人 (平成29年度)	148人 (令和元年度)	↑	120人 (令和4年度)	達成 (+34人)
⑨子ども医療費助成事業における広域サービスの提供	広域サービスの提供	実施の有無	圏域	実施 (平成30年度)	実施 (令和元年度)	→	継続実施 (令和4年度)	達成
⑩高齢者虐待等発生時の一時保護事業	休日、夜間における緊急保護体制の維持	実施の有無	圏域	—	実施 (令和元年度)	—	継続実施 (令和4年度)	達成
⑪「TOYAMAキラリ」を活用した教育普及事業	参加した小学校の割合	%(年間)	圏域	83.90% (平成30年度)	86.40% (令和元年度)	↑	100% (令和4年度)	未達成 (▲13.6ポイント)
⑫孫とおでかけ支援事業	圏域内対象施設の総入場者数に占める孫とおでかけ支援事業利用者(圏域内)の割合	%(年間)	圏域	2.10% (平成30年度)	2.36% (令和元年度)	↑	2.10% (令和4年度)	達成 (+0.25%)
⑬有害鳥獣農作物被害対策事業	農作物被害額	万円(年間)	圏域	6,184万円 (平成29年)	5,178万円 (令和元年)	↑	5,570万円 (令和4年)	達成 (▲392万円)
	有害鳥獣捕獲頭数(イノシシ)	頭(年間)	圏域	690頭 (平成29年度)	1083頭 (令和元年度)	↑	850頭 (令和4年度)	達成 (+233頭)
⑭親子でおでかけ事業	公共交通無料乗車きっぷの利用枚数	枚(年間)	対象地域	5,206枚 (平成29年度)	4,652枚 (令和元年度)	↓	6,500枚 (令和4年度)	未達成 (▲1,848枚)
⑮社会インフラの老朽化対策連携事業	研修会の参加人数	人(年間)	圏域	—	124人 (令和元年度)	—	100人 (令和4年度)	達成 (+24人)

基準値比較	成果指標の値が上昇	↑	10項目
	成果指標の値を維持	→	2項目
	成果指標の値が低下	↓	3項目※
目標値比較	目標達成		12項目
	目標達成に至らない		6項目

【資料説明】

②薬用植物栽培の事業化推進事業、⑤富山駅周辺整備事業(富山駅周辺地区の歩行者数)、⑭親子でおでかけ事業については、基準値との比較において成果指標の値が低下している。

②については、研修会内容の充実、事業の周知強化を図る必要がある。

⑤については、調査実施日の違いにより結果にバラつきが生じるが、路面電車の南北接続に続き、駅周辺の整備も着実に進め、住みよい魅力あふれる都市基盤整備に努めたい。

⑭については、事業の周知を強化し、公共交通の利用促進を推進していく必要がある。